

しろい通信

平成21年(2009)

7月号

vol.40 通信

発行部数1万6500部 隔月刊
白井市南山1-3-8-101
TEL(047)492-2396
FAX(047)492-2364
編集人/上野佳正
発行人/幸正純治

成田新高速鉄道

7月にも運賃認可申請か



京成の株主総会が6月26日に行われ、会場のホテル前で北実会メンバーらが北総線運賃の値下げを株主や通行人に訴えた

国交省と京成電鉄に沿線住民の声を!

来春から夏の開業を目指している成田新高速鉄道だが、北総線区間では新鎌ヶ谷、東松戸、小室の3駅での工事も終わり、印旛日本医大駅から成田空港間の新線工事も順調に進んでいる。工事の進行具合をみると、京成電鉄が7月にも国土交通省に運賃認可申請をする可能性も否定できない。北総鉄道の運賃値下げを実現する会(以下「北実会」、吉田治男会長)では、今が一番大切な時期とみて、関係筋への働きかけを活発化している。

スカイライナーの特急料金を適正に!

京成電鉄の運賃認可申請を前にして、北実会では北総運賃の値下げ(「スカイライナーの上野」)とスカイライナーの特急料金を適正にしようというのがある。スカイライナーの上野から空港間の運賃は1920円(うち特急料金は920円)。所用時間は51分だが、成田新高速鉄道だと36分と15分も短縮される。その効果を金額にすると560円強だ。京成が国土交通省に提出した成田新高速鉄道

北実会が緊急アピール

北実会会長ら京成の鉄道本部長と面談

京成本社 吉田治男会長ら4人の北実会メンバーは6月24日、京成電鉄本社を訪れ、「京成電鉄が運賃認可申請を行う前に、数多くの沿線住民が国土交通省と京成電鉄に生の声を」と

の事業収支計画では、年間49億円の収支を見込んでいる。例えば特急料金に400円上乗せしただけで、33億円の増収になる。また予定していた工事費が減ったことで、さらに利益が増えるでしょう。(吉田治男会長)

どけるのが、もっとも効果的だ」と北実会の吉田会長が訴える。「もう、あと一押し。皆さんの声をぜひ届けてもらいたい」。国土交通省と京成電鉄への請願は下記のとおり。

梨ブランドー株主総会が30日に延期

黒字ではなく赤字だった?

梨ブランドー株式会社(草間政一社長)の株主総会が6月30日に延期された。6月1日付けで発表された同社の決算内容では、営業利益が118万1616円と黒字と報告されている。しかし、株主に送付された損益計算書によると、343万8143円と、営業損失であることが判明したという。それを受けて、当初26日に予定されていた株主総会を4日延ばして開催されることになったもの。株主や関係者の話によ

ると、20期における借入状況は2482万円となっており、船橋のピビツトスクエアに開店したアテナショップにも多額の資金が投入されたよう

だ。営業損益が黒字で、かつ長期的に安定した自立経営が可能でなければ、市は同社の撤収を検討することを決めている。株主総会とその後に行われる取締役会に注目したい。

白井パークゴルフクラブ新会員募集連絡先(田代) 電話491-9704

ケーズデンキが地元説明会

駅前センター2階研修室で

ケーズデンキは7月17日、大店法に基づいた地元説明会を白井駅前センター2階研修室で行う。時間は午後7時から。白井駅前広場を守る会(柏木雅浩会長)は6月20日に行われた定例会で、ケーズデンキとの工事協定(工事中)と環境保全

協定(営業後)の締結を急ぐ方針を決めている。早ければ9月1日から工事が始まるので、「守る会」では工事協定の叩き台を早急に作成し、隣接するプリスタ(自治会)、トワイズ(管理組合)の両マンション、笹塚3丁目(自治会)とも

別居中のDV被害者に定額給付金と同額支給へ 横山久雅子市長は6月6日の定例記者会見で、

7月中旬までに申請分の給付完了予定

定額給付金

白井市の定額給付金対象世帯は2万2200世帯。6月24日現在、申請したのは2万414世帯である。これは対象世帯の91%にあたる。すでに申請世帯の半数以上の1万1273世帯が支給を受けた。

一方、子育て応援特別手当の対象となるのは904世帯で、95%の863世帯が申請済み。そのうち810世帯で給付が完了した。市では週3000世帯に振り込み手続きを行っており、7月中旬には申請分の給付が完了する予定だ。申請期間は10月20日まで。

国土交通省 ホットラインステーション
http://www.mlit.go.jp/hotline/hotline.html
電話 03-5253-4150
FAX 03-5253-4192

京成電鉄 「お客様ご意見・ご要望箱」
bmk@keisei.co.jp

白井駅前合同夏祭りマンション完成 ペース確保か

「白井駅前合同夏祭り」は昨年、駅南口でマンション建設中だったため、仮設の間に模範店を並べることができた。しかし、すでにマンションが完成し、1階に歯科医院が入居することになったので、前年並みのペースを確保するのが難しい状況。そこで6月5日、合同夏祭りに長年携わってきた地元有志と市議会議員6名が連名で横山市長宛に白井駅南口ロータリーでの開催を求める要望書を提出した。要望書に名前を連ねている白井駅前合同夏祭り実行委員長の土屋昭彦さん(池の上在住)は、「ロータリーでの開催は時間的に無理だろう。ただ昨年の反省をふまえ、何とか昨年並みのペースを確保したい」と意欲的だ。